

お忙しい中、各施設の見学に際しお時間を割いて説明をしていただきましたことに感謝し、今後の議論の参考にさせていただきます。

防災施設を視察



6/27、共英製鋼(株)名古屋事業所の避難ビルを見学し、説明を受けました。

施設の概要
構造 鉄筋コンクリート造
避難人員 300人を想定
建設費 約3億4千万円

昼間最大従事者数230人プラス近隣受け入れのため、自社の鋼材等を活用し液状化に耐えるよう施工されています。スロープはありませんが、津波高でなく遡上高を超えて避難スペースが設けられています。また重要機械設備は屋上に設置され、太陽光発電も取り入れています。



5/21、弥富市稲狐にある「弥富市南部地区防災センター」を見学し、説明を受けました。

施設の概要
構造 鉄骨造4階建
避難人員 最大約730人を想定
建設費 約1億7千万円(外構工事含む)

この施設は、津波高潮緊急避難場所として建設されました。

1階は集会室と倉庫、2～4階は同じ構造で2階は備蓄倉庫、3～4階及び屋上が避難場所となっています。外付けの階段2カ所、2階以上へ上がるスロープはありません。



今定例会で提出された意見書は次のとおりです。

◎農業と日本の食料主権、地域経済を破壊するTPP参加に反対する意見書
(全員賛成で採択)

提出先：内閣総理大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・環境大臣

◎消費税増税に反対する意見書
(全員賛成で採択)

提出先：内閣総理大臣・財務大臣